

防災の ススめ

「もしも」に備えを！

■防災対策課 ☎57-8501

第1回 事前復興ワークショップを 開催します！

香南市では、復興後のまちの目標や復興の進め方を、
平常時である「今」から皆さんと共有しておく
「事前復興まちづくり計画」をつくります。



被災後の復興まちづくりに向けた方向性を共有するためのワークショップを
テーマごとに数回開催します。

第1回 事前復興ワークショップ

皆さんと一緒に考えたいこと

将来のまちへの思い

どこに住み、どのように
暮らしたいか。皆さんの
思いを描きます。



今ある課題の解決

「道が狭い」
「避難しづらい」を、
復興を機に改善します。



未来へつなぐ地域の魅力

自然や祭りなど、守り残したい
ものを共有します。



復興イメージの共有

復興に向けて、住民参加の
進め方をイメージします。



日時	令和8年 11月14日(土)	A班 10:00~12:00 香我美町・夜須町の方 B班 14:00~16:00 野市町・赤岡町・吉川町の方
場所	A班 夜須公民館 2F 大研修室 B班 のいちふれあいセンター 2F 研修室	
申し込み	参加申込書を本庁舎 防災対策課(3階)、各支所まで提出して ください。QRからも申し込みできます。 ※参加申込書は防災対策課、各支所にあります ※8:30~17:15(土・日・祝日を除く) 申し込みQR▶ 	
締め切り	10月23日(金)	

第2回は令和9年1月23日(土) 予定です。

ワクチン定期接種 が始まります



インフルエンザおよび新型コロナに対するワクチンの
最も大きな効果は「重症化」を予防することです。そのた
め、インフルエンザや新型コロナにかかると重症化しや
すい方が定期予防接種の対象となっています。



こうなん
元気



問い合わせ
健康対策課
☎50-3011

	インフルエンザワクチン	新型コロナワクチン
対象者	香南市に住民登録があり、接種日に以下の①または②に該当する方 ①65歳以上の方 ②60歳以上65歳未満の方であって、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の回りの日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方や、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方(身体障害者手帳1級相当)	
実施期間	令和8年10月1日(木) ~令和8年12月31日(木) ※医療機関の休診日は除く	令和8年10月1日(木) ~令和9年3月31日(水) ※医療機関の休診日は除く
接種回数	実施期間内に1回	
接種料金 (自己負担)	1,500円 ※個別の通知はありません	5,100円 ※個別の通知はありません
	※定期接種に該当しない方や接種期間外での接種は任意接種(全額自己負担)となり それぞれの医療機関で費用が異なりますので、ご希望の医療機関にご確認ください ※予診票は医療機関にあります ※受診の際は本人確認できるものをご持参ください(マイナ保険証、運転免許証等)	

【予防接種健康被害救済制度について】

一般的に、ワクチン接種では、一時的な発熱や接種
部位の腫れ・痛みなどの、比較的良好に起こる副反応以
外にも、副反応による健康被害(病気にな
ったり障害が残ったりすること)が生じ
ることがあります。極めてまれではあるも
の、これらをなくすることができないこと
から、救済制度が設けられています。



▲香南市
ホームページ

【生活保護を受給している方へ】

自己負担金の免除制度があります。必ず接種前
に健康対策課(本庁舎2階)または各支所で申請を
行ってください。
免除申請は原則、本人または本人から委任を受
けた代理人(同一世帯以外の方は委任状が必要)と
し、本人および代理人の確認ができる書類(保護受
給証、診察券等)の提示が必要です。

成人歯科健診を受けよう！



香南市では次の方を対象に成人歯科健康診査を無料で実施
しています。特に定期受診をされていない方は、口腔状態を
知るために、この機会にぜひ受けましょう。
※対象の方には5月に受診券を送付しています

対象	本年度に20、30、40、50、55、60、70歳になる方 ※受診日に転出された方は対象外
実施期間	令和8年6月1日(月)~令和9年1月31日(日) ※受診する医療機関の休診日を除く
受診できる 医療機関	市ホームページから、受診可能な 医療機関の一覧を確認できます▶ 

ポイント



歯を失う原因の1位は歯周病!
でもそれだけではないんです…

歯周病は「万病の元」と言われ、全身のさま
ざまな病気と関係しています。定期的な歯
科健診、丁寧な歯磨きなどにより口の中を
健康に保つことで、歯周病だけでなくさま
ざまな病気等の予防が期待できます。

- ・糖尿病や動脈硬化、肺炎、早産・低出生
体重児出産の予防
- ・歯の数を保つことで、噛む力を維持でき、
軽度認知障害の予防につながるなど